



面積表 (算定式、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

建築面積 (算定式)	$(42.0 + 85.45) \times (26.0 + 0.5 + 0.5) + 5.0 \times 1.5 = 1168.5$	1168.5 m ²
3階 (算定式)	$42.0 \times 26.0 - 11.0 \times 2.5 - 16.0 \times 6.0 = 968.5$	合計 2987.0 m ²
2階 (算定式)	$42.0 \times 26.0 - 11.0 \times 2.5 - 16.0 \times 6.0 = 968.5$	
1階 (算定式)	$42.0 \times 26.0 - 18.0 \times 2.5 = 1047.0$	

受験番号: ID 202113
11111111-4 HAS
氏名: 今2.本試
再現図: 20.10.12
氏名: イマノ 2:30.
記法: 1:00
作図: 3:00
見直し: 0

このあたりは記号の何が正しいか、図面の記載から本試と50:25を記入可能。

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。

なお、要求図面では表せない部分についても記述する。(1)(3)(5)の図示は必須

(1) 居住部門の個室の計画において「入居者の住みやすさ」及び「介護のしやすさ」について考慮したこと

	<p>入居者の住みやすさに配慮し、個室、共同生活室は、採光に配慮すると共に日照にも配慮し、南側か東西に配置した。その為、採光に配慮する為に隣地境界線からは離して計画した。</p> <p>介護のしやすさに配慮して、スタッフルームをユニットの中心になる様に配置し、スタッフ動線を出来るだけ短くなる様にした。</p> <p>また、できる限り居室の出入口や、エレベーターホールが見えるように配置し、居住者の出入りを管理できるようにした。浴室をスタッフルーム近くに配置し居住者の安全に配慮出来る様にした。</p> <p>※本番では欄より少しはみ出す分量となった。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 居住部門及び居宅サービス部門のスタッフルーム等介護に必要な諸室の配置について考慮したこと

サービス用エレベーターと階段を北東に配置したので、サービス用諸室は北側にまとめて配置し、サービス動線が短くなりサービスしやすい様に配慮した。

(3) 共同生活室及びデイルームについて、自然光を取り込みつつ、冷房時の負荷抑制を図るために建築計画において工夫したこと(Low-Eガラスを仕様する工夫を除く)

	<p>共同生活室とデイルームは自然光を取込みつつ直射日光をさえぎることで、日射熱による冷房の負荷を抑制する様に配慮した。</p> <p>また、光庭を計画し、中間期の自然通風により、冷房の負荷を抑制する様に配慮した。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名をお書き添えください。

(4) 建築物の構造計画について、建築物の特性の応じて採用した構造種別・耐震計算ルートとそれらを採用するにあたり、耐震性を確保するために考慮したこと

ルート 1・2・③

鉄筋コンクリート造

耐震性を確保する為に、靱性に優れたラーメン架構形式とし、柱と柱の間のスラブは60m²以下となる様にし、小梁はたわみに配慮しスラブが30m²以内になる様に配置した。

(5) 車寄せの屋根・庇などとなる部分の寸法、有効高さ及び車寄せの屋根、庇などの構造計画

(各種寸法、部材の材質、支持方法及び耐震性等)について考慮したこと

	<p>車寄せはピロティとバルコニーの下を使う事で構造計画上もごうりてきな計画となるようにした。</p> <p>庇を伸ばさないことにより、耐震性に対しても配慮した計画となっている。</p> <p>※本番では欄ない7~8割程度埋まる分量で何かを書いていたが、おそらく同じようなことを書いてしまっている。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(6) 地盤条件や経済性を踏まえた、支持層の考え方、採用した基礎構造とその基礎底面のレベルについて考慮したこと

支持地盤が1.5mと浅いため、建物全体を一体的に支えるベタ基礎方式とした。

また、支持地盤から0.5mの深さに耐圧板を配置し、2mの深さのピットとした。

既存建物撤去範囲は地盤改良を行う計画とした。

(7) インフルエンザやノロウイルスへの対策について、建築計画や設備計画において考慮したこと

24時間換気、第一換気とし、常に換気がされるようする為に外気調整機を計画した。

外気調整機の室外機は2Fのバルコニー、3Fのバルコニー、屋上に計画し、それぞれの階で空調する計画とした。

(8) 高齢者介護施設としての空調方式について、採用した空調方式とその理由

空調方式は外気調整機を計画した為、それぞれの部屋を個別に温湿度管理をする為に空冷ヒートポンプパッケージ方式とした。

大空間である地域交流スペースは床置きダクト型とした。

202113_HAS_一級製図本試験_今わかっている失敗ポイント

一発アウトの可能性

■ デイルーム 80m²以上の指定を見落とし、77m²とした。(設計条件.2-5 無視)

■ バルコニー外気空調機の屋外機を置く。(設計条件.2-4 無視)

→2.「面積算定箇所にはピロティ等を屋内的用途に供する部分(駐車場、設備スペース等)については、床面積に参入するものとする。」とあり、面積算入した場合、床面積3000m²以上となり一発アウト。

→空調室外機は屋上に指定されているのを無視してしまった。

■ 管理用エリアで廊下の幅を芯-芯で2mとしてしまう。(留意事項.2無視)

失点

■ 記述の日本語、文法がぐちゃぐちゃで何を言っているかわからない。

■ 作図が汚い。(壁の崩落が所々できていない、文字が壁で潰れる、壁の幅がまちまちになってしまった)(再現図は本試より綺麗になってしまいました)

■ 避難上有効な通路の文字、幅の書き忘れ。

■ 北側の延焼ライン書き忘れ。

■ 屋上に自家発電設備を忘れる。

■ 屋上設備、外調機と空冷ヒーポン用の室外機を描き分けていない。

■ スタッフルームの縦横比がとても長い(各居室への視認性を優先したのだが。)

■ 個室の入り口が一部スタッフルームから見えない箇所あり

■ 一部読めないとおもわれる文字あり

■ 断面図の道路射線が2階平面図の敷地ラインに入ってしまった。

■ 埋め戻し部分を地盤改良としたが、範囲を未記入(問題用紙に記入されていた)

■ 非常時開放の放を訪と間違える。。

■ 管理階段の前の通路が1.5mしかない

■ eps室の幅が1.5mしかない

■ 浴室の窓「型ガラス」と表記しておらず、プライバシーに配慮できていないように見える。

■ 1Fの階段から外に出る扉に丸特と書き忘れ。(利用者階段ではなく、避難用とアピールしたかったのだが、丸特を描き忘れってしまった。)

■ 外部階段横のC4の袖壁を書き忘れ。(バルコニー1.5mと柱の寸法0.35で1.85mとなり、外部階段まで2mの距離が取れていない)法規無視なので一発アウトかも。

■ 「アラーム弁室」を「アラーム弁」と書いてしまった。

■ 自動ドアの扉書き忘れ

■ 配膳動線が遠い

■ 断面線が1.2.3Fで微妙にずれてしまった。(判例を入れて誤魔化したか、微妙なズレかた。)

■ ユニットAと居宅サービスの区切りを忘れてしまう。

■ ユニットBとCの区切りを忘れてしまう。

■ 階段室内の吹き抜けを床面積から引き忘れる

■ 汚物動線、配膳動線がかぶっている。(留意事項7 無視 ノロウイルス対策が出来ていない)

■ 階段を急いで書いた為、段数不明。

■ 厨房の防水床200下げ忘れ

■ 断面は時間がなく崩落作図を無視。

■ 3Fは庇なし。記述と不整合。

■ 切断線を焦って各階で少しずらして書いてしまう。(判例をつけてごまかす。)

■ 宿泊室の名前を「宿1」と表記せず、「宿泊室1」と表記。

■ 給湯設備の位置を記載していない。

不明

■ 調理室の中に便所あり→異種用途区画の必要があったのかも??

■ 光庭の要求は無いが面積調整で入れる。

■ 四周バルコニーとしたが、外部階段に一番違いところのみ丸特とした。本来はバルコニーへの全ての出入り口が丸特?

■ 汚物処理室、洗濯室、介護用品倉庫等の考えられる必要所室を配置できていない。(考える余裕がなかった。)

■ epsが玄関を通らないと入れない。

■ 下足箱がわかりづらい位置にある。(玄関入ってきてから死角にある。)

■ アラーム弁室の前が芯-芯2m幅の廊下(宿泊室1とC1の部屋には1.8m以上の有効幅があるが、バルコニーに出る廊下幅は1.6mまでしか無い)

■ アラーム弁室が消火ポンプ室の直上に配置できなかった。

■ バルコニーに出れる扉に非常時開放と書き忘れ(徘徊で危険と判断される可能性あり)

■ 部屋の間隔を小数点2桁まで書いてしまった。(本当は小数点1桁までで切り捨ててすよね。)

■ 車寄せはピロティ+バルコニーの出とした。記述で詳しく聞かれているので出題者の意図と反する可能性あり。

■ テラスは定石通り人通りの多い大通りに面した方が良かったと思われる。(幼稚園の出入り口を園庭側ではと予想して南側にテラスを持ってきてしまう。)

■ エレベーターシャフトは面積から引いていないが良かったか?

■ 北側切り開きを3つもしてしまう。